

□ 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

今、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻、さらにはチカゴ<sup>a</sup>の円安傾向によって、日本の物価はキュウソク<sup>b</sup>に上昇しインフレ状態にある。

「国の経済を成長させるためには、多少のインフレは必要である」——中央銀行の関係者の常套句<sup>A</sup>だが、必ずしもそのように言うことはできない。

原油産出国のような「輸出者」にとっては、インフレがもたらす価格上昇は歓迎すべきものだが、それ以外の人々にとってはよくない。大半は後者にあたる。

インフレのもたらす悪影響として、競争力の低下がある。

トラクター生産業者を例に挙げて説明しよう。インフレが起きると、この企業が海外へ輸出できる台数は減少し、状況次第では国内でしか販売できなくなってしまう可能性もある。これは、インフレによって「値段」という競争力を失ってしまうからだ。①一企業の競争力の低下は国の競争力低下にもつながり、一大事となる。日本も決して例外ではない。

なお、インフレとともに生じた円安傾向は、輸出企業にとってはプラスの側面もある。

自動車会社の例で説明しよう。たとえば1台150万円の日本車をアメリカへ輸出するとする。1ドル95円であれば、アメリカでの販売価格は1万5789ドルだ。これが円安ドル高の場合にはどうなるか。1ドル150円の場合、アメリカでの販売価格は1万ドルとなり、円高時よりも5789ドルも安くなる。価格競争力が高まるためこの自動車会社は儲かり、株式の買い手が増え、ひいては株価が上昇する可能性も高まるのだ。

かつては、このような高い国際競争力を有する企業が日本にも存在した。その代表格がトヨタ自動車（以下、トヨタ）である。

トヨタは世界最高峰の品質を誇る自動車会社として、世界に知られる存在だ。

トヨタ以前に自動車業界でトップの座についていたGM（ゼネラル・モーターズ）は、1930年代から戦後にかけて、アメリカ国内最大のシェアを誇った。1965年ごろにサイセイキ<sup>c</sup>を迎えたGMは、トヨタが輸出を開始しアメリカ市場に参入することに対して、ほとんど気にとめておらず油断していた。

当時のGMは世界で最も重要な会社の一つだった。コンサル会社は彼らに、日本企業が自動車業界に参入することを話したが、GMの幹部はそれを笑い飛ばしたのだ。なぜなら、当時の「メイド・イン・ジャパン」は一種のジョークと思われていたからだ。<sup>②</sup>

トヨタが優れていたのは価格だけではない。品質の高さも A されていた。これらを兼ね備えていたからこそ、高い競争力を持つことができた。

GMが、ガソリンをがぶ飲みする燃費の悪い高価格の車をつくり続けたのに対し、トヨタに代表される日本の自動車メーカーは、いち早く燃費のいい車を低価格で提供することに成功し、マタタ<sup>d</sup>く間にアメリカにおけるシェアを奪った。

その後のテンカイ<sup>e</sup>は、皆さんもご存じの通りだ。GMは2009年に連邦破産法11章（日本の民事再生法に相当する）の適用を申請し、経営破綻した。負債総額は1728億ドルで、これは世界の製造業で史上最高規模、全業種で見てもアメリカ史上第3位の規模ともいわれる。同社はその後、国有化され、経営再建を目指すこととなった。

どの国でも、消費者は往々にして高品質の製品を欲しがるものだ。家計が苦しい時期は「とにかく安いこと」を最優先に選ぶが、これは（1）一時的な現象で、品質<sup>③</sup>を無視して低価格に走れば、その製品は、最終的には市場から消える運命にある。価格の安さと品質の高さを兼ね備えてこそ真の競争力となるのだ。

これは経済が停滞し、（2）産業で競争力を失いつつある現代の日本企業に、今一度心にとめてほしいことである。

日本発のグローバル企業は世界各地に工場を持っているので、国内における産業の空洞化を懸念する声も存在する。しかし、私はそのようには思わない。今、海外にある日本企業の工場が、（3）約50年前のトヨタのように低価格かつ高品質の商品を日々生み出し続けているかという点、そうではないからだ。

日本企業が低価格路線を追求しても、（4）低価格を実現することができる韓国や中国などの国々が存在する。それらの国との熾烈な価格競争で勝ち抜くことは非常に難しい。どこかが安いものをつくると、それよりも安くつくるところが必ず出てくる。これは

B

の必然だ。

質を担保し続けるためには、イノベーションを起こし続けるほかはない。

（5）AppleがiPhoneやiPadを生み出したことで、世界のIT市場はパソコンの時代から、モバイルの時代へと大転換した。そのなかでAppleは王座に君臨し続けているが、それは競合に負けない商品力を維持するために、イノベーションへの努力を怠らないからである。

どれほど画期的な製品でもその後、競合商品が生まれてくればコモディティ化して、より安い製品をつくる企業にトップの座を譲ることになる。市場競争の荒波にのまれないうためには、ゲームチェンジを起こすような画期的製品を生み出す力が欠かせない。

（ジム・ロジャース『捨てられる日本 世界3大投資家が見通す戦慄の未来』より）

注 インフレ……物価が上がりつづけ、貨幣の価値が下がること。

連邦破産法11章（日本の民事再生法に相当する）の適用……企業が自らの力で立ちゆかなくなり助けを求める状態のこと。

イノベーション……技術的な革新により、社会に新しい価値を生み出すこと、またはその取り組み。

IT……「Information Technology（インフォメーション・テクノロジー）」の略。情報技術と言われる。

コモディティ化……競争商品のあいだで、機能・品質・ブランドなどの差異や特徴がなくなり低価格化・一般化すること。

単に、一般化、大衆化などとも言う。

問一 Ⅱ a e のカタカナを漢字になおしなさい。

問二 } A、Bの意味を次から選んで、記号で答えなさい。

| A 常套句 |         | B 往々にして |           |
|-------|---------|---------|-----------|
| ア     | 常識的な言い方 | ア       | よくあることとして |
| イ     | 決まり文句   | イ       | だいたいのことで  |
| ウ     | 言い逃れ    | ウ       | 行き着く先として  |
| エ     | 反省の弁    | エ       | 大多数が      |
| オ     | イヤミな言い方 | オ       | ふりかえることで  |

問三 (1) (5) に入る語を次から選んで、記号で答えなさい。

ア たとえば    イ あらゆる    ウ あくまでも    エ さらなる    オ はたして

問四 A、B に入る言葉を次から選んで、記号で答えなさい。

|   |      |      |      |      |      |
|---|------|------|------|------|------|
| A | ア 補充 | イ 補償 | ウ 担保 | エ 注意 | オ 追加 |
| B | ア 企業 | イ 日本 | ウ 歴史 | エ 経済 | オ 現実 |

問五 — ①「…国の競争力低下にもつながり、一大事となる」ことの理由を次に掲げたが、一つ誤りがある。それを選んで、記号で答えなさい。

ア 海外向けの製品が輸出できなくなるため。

イ 国内の販売には数の上で限りがあり豊かになりにくいため。

ウ 商品の安値が頼りの販売力が、貨幣価値の衰えとともに力を失うため。

エ 貨幣価値下落に伴う企業の競争力低下は国家的な経済問題に直結するため。

オ 企業集団に支えられている国は国民にさらなる税を強いる必要が出てくるため。

問六 — ②に「…一種のジョークと思われていた」とあるが、なぜなのか。次から最も適当だと思われるものを選んで、記号で答えなさい。

ア 日本製がアメリカ製に比して良いものだ と検証してみることもなかったから。

イ トヨタの名がまだ知られることはなくアジアに対する認知もなかったから。

ウ 日本は敗戦国であり、その国で作られるものは粗悪な品が多かったから。

エ アメリカ製より日本製が劣っていると信じて疑わなかったことが常識だったから。

オ シェアにおいて圧倒的優位にあるアメリカ製品が品質で脅かされることはなかったから。

問七 — ③のように「…低価格に走れば、その製品は、最終的には市場から消える運命にある。」というが、品質の低下がなくとも「消えゆく運命」にあることを説明した六〇字程度の部分がある。その最初と最後のそれぞれ五字を示しなさい。(句読点含む)

問八 本文の内容をまとめた文を作ったが一つ誤りがある。それを選んで記号で答えなさい。

ア 円安の方向に進めば、輸入に頼る消費者にとっては大きな問題となる。

イ 輸出に利益を求める企業を除けば、インフレは企業にとっても国際競争力を減退させる。

ウ かつてアメリカで優位を誇った自動車産業でも市場から消え去る道を歩むことがある。

エ 国内における産業の空洞化問題だけでなく、「値段」の競争にのみ進むようであれば先行きは暗い。

オ 商品はやがて競合商品を迎えるためゲームチェンジが訪れることになる。

□ 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

「塩」が、まだ正式に使われていなかった時代の話である。

医師篤成、故法皇の御前にさぶらひて、供御の参りけるに、「今参り侍る供御の色々を、文字も功能も尋ね下されて、そらに申し侍らば、本草に御覧じあはせられ侍れかし。ひとつも申しあやまり侍らじ」と申しける時しも、六条故内府参り給ひて、「有房ついでに物習ひ侍らん」とて、「まづ、しほといふ文字は、いづれの偏にか侍らん」と問はれたりけるに、「土偏にさうらふ」と申したりければ、「才のほど既にあらはれにたり。いまはさばかりにて候へ。ゆかしきところなし」と申されけるに、どよみに成りて、まかり出でにけり。

（『徒然草』より）

注 医師篤成……宮中の医師で、自分の知識に自信を持っていた。

故法皇……亡くなった後宇多天皇。このときは存命であった。

供御……お食事の膳。

本草……薬用植物をはじめ動物・鉱物にわたって研究する本草学の書物。現在の植物学、薬学、栄養学に該当する。

六条故内府……藤原有房のこと。この時まだ存命で内府（内大臣）であった。

どよみに成る……どよめくほどの大爆笑になること。

問一 ・・・「しほ」「さうらふ」を現代仮名づかいに改めなさい。

問二 〳〵 A、Bの意味を次から選んで、記号で答えなさい。

| A そらに |          | B オのほど |         |
|-------|----------|--------|---------|
| ア     | 空中で      | ア      | 澄みきつた具合 |
| イ     | 何も見ないで   | イ      | 年齢のほど   |
| ウ     | うそをついて   | ウ      | さえぎる方法  |
| エ     | 詫びを入れようと | エ      | 知識の程度   |

問三 ｝ a ｝ dの動作の主を次から選んで、記号で答えなさい。

ア 篤成    イ 六条故内府    ウ 作者

問四 ① 「尋ね下されて、」とは、誰が誰にどのようなことを尋ねたのか。次から選んで記号で答えなさい。

ア 故法皇から医師篤成に、料理の作り方について。

イ その場にいる人々から医師篤成に、食事の名称や知識について。

ウ 医師篤成から故法皇に、料理の味わいについて。

エ 六条故内府から故法皇に、食材の漢字と効能について。

問五 ② 「御覧じあはせられ」とは、どのようなことか。次から最も適当なものを選んで、記号で答えなさい。

ア 他人に尋ねた内容をしっかりと書物で確認した上、まちがいなく覚えておいてほしいということ。

イ 出されたものを書物で確認しながら、その意味合いや色使いにも注意をしてほしいということ。

ウ 目の前に出されたものの名前や効能について私の知識が正しいことを確認してほしいということ。

エ 食事内容の確認についてはしっかりとした書物で確認を重ねてほしいということ。

問六 — ③ 「いづれの偏にか侍らん」を口語訳するところのようになるか。次から最も適当なものを選んで、記号で答えなさい。

ア どのような偏がつく文字でございますか。

イ どちらのあたりになるでしょうか。

ウ どの偏を付けたら良いのでしょうか。

エ どの時代のあたりにございましょうか。

問七 — ④ 「どよみに成りて」とあるが、皆が笑ったのはどうしてか。次から最も適当なものを選んで、記号で答えなさい。

ア 聞きたいと思って聞いても楽しくはないから。

イ もう聞きたくはないと言われて、しらけてしまったから。

ウ 教えてもらおうと言った人の方が知識旺盛だったため。

エ 一般的な知識でしか返答できずにその場にいられなくなったから。

問八 この話は、どのような話か。次から最も適当なものを選んで、記号で答えなさい。

ア 知恵もない人間がその能力のつたなさをあばかれて帰宅してしまうという話。

イ 自分は知恵も学識もあると自慢した人物よりもっと謙虚な知恵者に言い負かされる話。

ウ 他人の知恵を馬鹿にしていた男が自分もそうだったと反省し悔やむ話。

エ 自信満々の人間が、思いもよらぬ肩すかしを食らって敗北し、失笑を買う話。

問九 この文の筆者を答えなさい。

㊦ 次のそれぞれの四字熟語の空欄に入る漢字を答えなさい。

- |   |        |   |        |   |        |
|---|--------|---|--------|---|--------|
| A | 温（ ）知新 | B | 森羅（ ）象 | C | 一（ ）一憂 |
| D | 一（ ）一夕 | E | 付（ ）雷同 | F | 我（ ）引水 |

㊧ 次の作品を記号を使って成立順に並べて、関係の深い同時代の人物名をあとから選り記号で答えなさい。

- |   |      |   |       |   |       |   |      |   |      |
|---|------|---|-------|---|-------|---|------|---|------|
| A | 奥の細道 | B | 平家物語  | C | 古今和歌集 | D | 源氏物語 |   |      |
| ① | 太安万侶 | ② | 後鳥羽上皇 | ③ | 紀貫之   | ④ | 藤原道長 | ⑤ | 松尾芭蕉 |

五 次の——部の品詞を後から選び、記号で答えなさい。(同じ記号を二度使っても良い)

新橋を渡る時<sup>①</sup>、発車を知らせる二番目の鈴<sup>ベル</sup>が、霧とまではいえない九月の朝の、煙<sup>けむ</sup>った空気に包まれて聞こえて来た。葉子は平気<sup>③</sup>でそれを聞いたが、車夫は宙を飛んだ。そして車が、鶴屋という町のかどの宿屋を曲がって、いつでも人馬の群がるあの共同井戸のあたりを駆けぬける時、駐車場の入り口の大戸をしめようとする駅夫と争いながら、八分<sup>ぶ</sup>がたしまりかかった戸の所に突っ立ってこっちを見まもっている青年の姿を見た。

「まあおそくなつてすみませんでした事……まだ間に合いますかしら」<sup>④</sup>

と葉子がいいながら階段をのぼると、青年は粗末<sup>⑤</sup>な麦稈<sup>むぎわら</sup>帽子をちよつと脱いで、黙ったまま青い切符を渡した。

(有島武郎『或る女』より)

|   |    |   |    |   |     |   |      |   |     |
|---|----|---|----|---|-----|---|------|---|-----|
| ア | 名詞 | イ | 動詞 | ウ | 形容詞 | エ | 形容動詞 | オ | 連体詞 |
| カ | 副詞 | キ | 助詞 | ク | 助動詞 |   |      |   |     |

# 国語解答

小計 42 点

2 点×5 問一

|   |              |
|---|--------------|
| a | 近頃<br>チカゴロ   |
| b | 急速<br>キエウソク  |
| c | 最盛期<br>サイセイキ |
| d | 瞬く<br>マタタ    |
| e | 展開<br>テンカイ   |

2 点×2 問二

|   |   |
|---|---|
| A | イ |
| B | ア |

2 点×5 問三

|   |   |
|---|---|
| 1 | ウ |
| 2 | イ |
| 3 | オ |
| 4 | エ |
| 5 | ア |

3 点×2 問四

|   |   |
|---|---|
| A | ウ |
| B | ウ |

問五

|   |
|---|
| オ |
|---|

問六

|   |
|---|
| エ |
|---|

3 点 問七

どれほど画　　と　　になる。

3 点 問八

|   |
|---|
| オ |
|---|

小計 28 点

2 点×4 問一

|    |       |
|----|-------|
| しほ | しょうろふ |
| しお | そうろう  |

問二

|   |   |
|---|---|
| A | イ |
| B | エ |

2 点×4 問三

|   |   |
|---|---|
| a | ア |
| b | イ |
| c | イ |
| d | ア |

2 点×3 問四

|   |
|---|
| イ |
|---|

問五

|   |
|---|
| ウ |
|---|

問六

|   |
|---|
| ア |
|---|

2 点×3 問七

|   |
|---|
| エ |
|---|

問八

|   |
|---|
| エ |
|---|

問九

|      |
|------|
| 吉田兼好 |
|------|

小計 12 点

2 点×6 問

|   |   |
|---|---|
| A | 故 |
| B | 万 |
| C | 喜 |
| D | 朝 |
| E | 和 |
| F | 田 |

小計 8 点  
各完答

2 点×4 問

|    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 作品 | 人物 | 作品 | 人物 | 作品 | 人物 | 作品 | 人物 |
| C  | 3  | D  | 4  | B  | 2  | A  | 5  |

古い時代

新しい時代

小計 10 点

2 点×5 問

|   |   |
|---|---|
| ① | イ |
| ② | ク |
| ③ | エ |
| ④ | カ |
| ⑤ | エ |